

『帰宅困難者支援施設運営ゲーム(KUG)』 大阪市 各事業所実施版

※新型コロナウイルス感染症対応の検討を含みます。

※「KUG(企業内滞留版)Ver.3.0.1 新型コロナ対応版(内陸ver.)」(東京大学 廣井研究室、SOMPOリスクマネジメント株式会社) に基づき、作成者の許可を得て、改編したものです。検討のヒントなど専門家の見解に基づく内容は基本的にそのまま引用しており、引用を明記しています。

標準プログラム [80分～100分程度]

1. はじめに [約5分]

- ・進行の確認(検討目標の確認)(約2分)
- ・(※必要に応じて)アイスブレイク(約3分)

「手引き編」を参照いただき、プログラムの組み立てを検討ください。

2. ゲームスタート [約60～80分]

- ワーク① 施設内の従業員等の安全確認(約5分)
- ワーク② 体制の検討・確認(約3分)
- ワーク③ 施設内の配置の検討・確認(約5～15分)
- ワーク④ 待機方針の検討・確認(約3分)
- ワーク⑤ 想定されるいろいろな課題の検討(50分程度)

3. 検討内容の整理[約15分]

(※必要に応じて)

アイスブレイク

時間の目安



約3分

※事業所内でよくわかっているメンバー
で実施される場合は省略

■簡単な自己紹介

- ・簡単な自己紹介をします。
 - ご所属
 - お名前
 - 意気込み など

複数のグループ
で実施する場合、
各グループで
行います。

各自30秒程度
をお願いします。

ゲームスタート

○従業員・来所者等の屋内滞留に備えて次の検討や確認を自社の状況にあわせてプログラムを組み立てて行いましょう。（手引き参照）

- ワーク① 施設内の従業員等の安全確認（約5分）
- ワーク② 体制の検討・確認（約3分）
- ワーク③ 施設内の配置の検討・確認（約5～15分）
- ワーク④ 待機方針の検討・確認（約3分）
- ワーク⑤ 想定されるいろいろな課題の検討（50分程度）

地震発生

災害想定

項目	想定
地震	✓ 本日11時30分に地震発生 ✓ 上町断層帯地震、地震の規模はM7.8 ✓ 大阪市内は最大震度7、震度5強以上の激しい揺れ ✓ 所属事業所は震度 の揺れ
津波	✓ 津波の心配はない

準備①

上町断層帯地震の場合の自社所在地の想定震度を確認して記入しましょう。

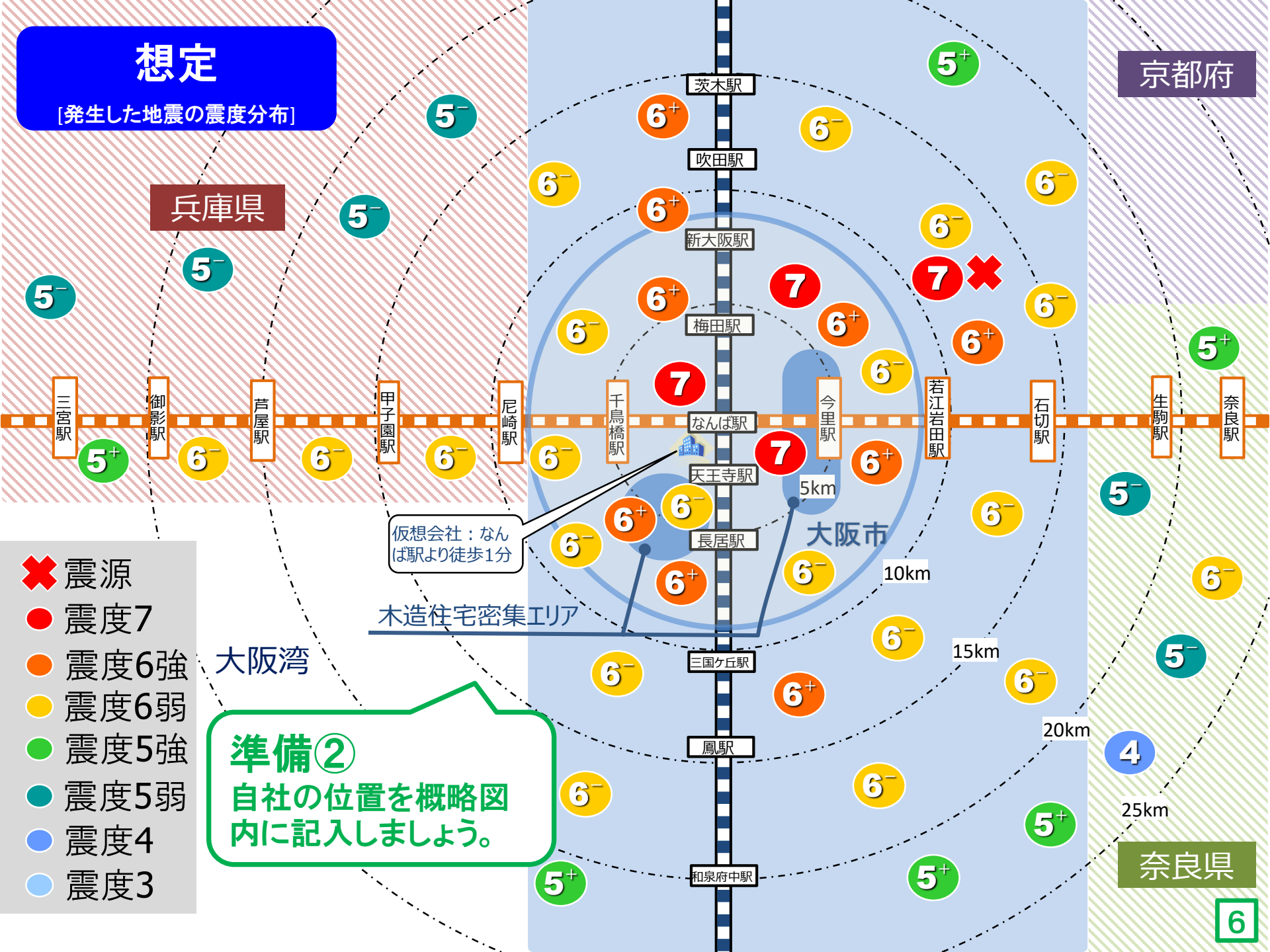
■被害イメージ(震度6強以上)



※イメージは「KUG(企業内滞留版)Ver.3.0.1 新型コロナ対応版(内陸ver.)」(東京大学廣井研究室、SOMPOリスクマネジメント株式会社)引用

想定

[発生した地震の震度分布]



- ✖ 震源
- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強
- 震度5弱
- 震度4
- 震度3

準備②

自社の位置を概略図内に記入しましょう。

京都府

兵庫県

奈良県

6

ワーク1

まずは事業所内の点呼

点呼をします

時間の目安



約5分

ワーク1

・発災直後の自社での安否確認の方法等を確認します。

自社で準備した名簿がある場合

自社の名簿がない場合

自社の名簿と安否確認の方法をみなさんと再確認

キットの従業員等仮想名簿を活用

- ①コロナ禍で半分出社、半分以上在宅
 - ②出社のうち10名程度が外出中
それ以外は事業所施設内。
 - ③来所者が5名程度
- との想定とします。

番号	所属部門	課	役職	名前	性別	年齢	居住場所	身障の有無など	本人の安否情報	住所	勤務先・通勤手段	自宅での家族構成	家族構成	家族の安否	備考	備考
1	役員		代表取締役(代表者本部)	佐藤	男	55	埼玉県内		自宅にあり、無事	埼玉県内	自車	15歳、息子(15歳)	全員無事			家族5人、うち3人(佐藤代表、佐藤代表、佐藤代表)が在宅中。家族5人(佐藤代表、佐藤代表、佐藤代表、佐藤代表、佐藤代表)が在宅中。
2	役員		専務取締役(代表者本部)	佐藤	男	45	埼玉県内									
3	役員		専務取締役(代表者本部)	佐藤	女	50	埼玉県内									
4	管理課		課長(代表者本部)	田中	男	52	埼玉県内									
5	管理課	人事総務課	課長(代表者本部)	佐藤	男	45	埼玉県内		社内におり、無事	埼玉県内	自車	22歳、息子(15歳)、息子(12歳)	全員無事			
6	管理課	人事総務課	人事・総務(代表者本部)	伊藤	男	38	埼玉県内		社内におり、無事	埼玉県内	自車	15歳、息子(15歳)	全員無事			
7	管理課	人事総務課	人事・総務(代表者本部)	山本	男	45	埼玉県内		社内におり、無事	埼玉県内	自車	15歳、息子(15歳)、息子(14歳)	全員無事			

ゲームキット集①

※コロナ禍での出勤体制や来所者数など、自社の状況にあわせた想定に変えましょう。

▼点呼の結果、次のとおりと想定して進めます。

- 揺れが収まって、どうやら助けの必要なケガ人はいないようです。
- 点呼の結果、事業所施設内は、全員無事であることが分かりました。

項目	ゲーム開始時の想定
鉄道	✓ 鉄道各社は、点検のため全線で運転を見合わせている。 ✓ 鉄道は全線で、運転再開の見通しは立っていない。
ライフライン	✓ 大阪市を中心に停電、断水が続いている。 ✓ 固定電話、携帯電話とも通話はつながりにくい。 ✓ 携帯メールは送信できるが、届くまでに時間がかかっている。 ✓ LINE、facebookなどのSNSはつながっている。
事業所内	✓ 建屋内は安全であることが確認されている。 ✓ 現在は、運よく電気・ガス・水道とも使用可能。ただし、エレベーターは運行停止。 ✓ 未固定の什器・資材が一部移動・散乱したが、フロアに大きな被害は無し。 ✓ 役員(オーナー社長)は出張中であるが、衛星電話で連絡がとれる。 ✓ 他事業所からの出張者、来訪者も来ている。
その他	✓ 発災直後に地元自治体から一斉帰宅抑制の要請があった。

●みなさんは、事業所内の対策本部として、
事業所内での待機に関する方針を検討し、
対応にあたるメンバーとの想定で、これから
のゲームを進めます！

ワーク2

役割分担の確認

役割分担を確認します。

時間の目安



約3分

ワーク2

・役割分担について確認・検討します。

自社の災害対策の役割の方が集まられている場合

自社で役割分担を決められていない場合や役割以外の方が集まられている場合

①役割分担を確認

②ゲーム上の
記録係を決定

①ゲーム上の役割分担を決定

対策本部長 1人 最終決定役

記録係 1人 議論内容の記録役

その他 その他の人

ワーク3

施設内の配置の確認

施設内の配置を確認します。

時間の目安



約5～15分

ワーク3

・配置を確認、検討します。

自社で配置を決めており、自社の図面がある場合

自社で配置を決めていないが、自社の図面がある場合

自社の図面がない場合

以下の配置を記入

以下の配置を検討して記入

キットの仮想平面図を活用

図面に記入すること

- 対策本部の場所
- 立入禁止の場所
- 熱咳等症状者専用の療養スペース
- その他、待機場所など決まっていることを記入
(コロナ禍の想定での待機場所活用:1人4㎡目安、パーティション活用など)

描画方法の例

対策本部

立入禁止

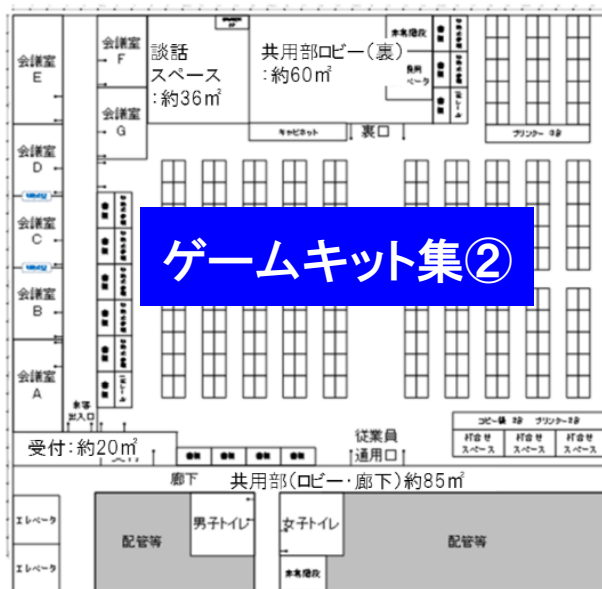
療養
スペース



パーティション
(幅2m)



消毒液



ワーク4

施設内待機の方針の確認

施設内待機の方針を確認します。

時間の目安



約3分

ワーク4

- 施設内待機の方針、あわせて備蓄物資について確認します。

自社の方針が決められている場合

自社の方針が決められていない場合

- 待機方針
- 備蓄品の配布
- 施設内の利用に関するルール

など、方針をみなさんで確認。あわせて備蓄物資の一覧を確認

キットの仮想待機方針、仮想備蓄物資一覧を確認

備蓄品一覧(従業員用備蓄品は除く)

分類	内容	個数
水	保存水	1,800 本
食料品	バランスパワー 6YEARS	300 個
食料品	災害備蓄用パン クランベリー&ホワイトチョコ	100 個
食料品	災害備蓄用パン オレンジ	100 個
食料品	災害備蓄用パン 黒豆	100 個
食料品	アルファ米 梅がゆ	100 袋
食料品	アルファ米 五目ごはん	100 袋

ゲーム
キット集④

項目		方針					
1	待機方針	全員待機 [事情を問わず帰宅を許可しない]	原則待機 [合理的な事情があれば例外的に帰宅を許可]	一部帰宅 [条件に合致する者は帰宅]	原則帰宅 [合理的な事情があれば例外的に待機させる]	全員帰宅 [事情を問わず帰宅させる]	
2	備蓄品の配布(事業所管理分)	水: 提供 / 非提供 / 事情により提供 エアマット: 提供 / 非提供 / 事情により提供		食料: 提供 / 非提供 / 事情により提供 個人配布の備蓄品: 個人管理 / 不在者分のみ回収 /			
3	共用部トイレ使用	通常通り利用				ゲームキット集③	産を設置して利用(場所:)
4	熱咳等症状者専用の療養スペース	専用待機場所: 設定(場所:) / 非設置		専用トイレ: 設定(場所:) / 非設定			
5	その他のスペース	使い方を決めたら記載:					
6	コンセントの利用	使用可 / 条件付き使用可 / 使用不可			その他メモ		

ゲームキット集③

ワーク5

時間の流れにそって
課題の検討

課題を検討します。

時間の目安



50分程度

ワーク5

・イベントカードの内容について対応を検討します。

進め方

- 次々ページから「イベント」(検討内容)と「ヒント」をセットにして入れています。順に、ヒントを参考にみなさんで対応策や方針を検討してください。
- 1イベント概ね5分程度を目安にします。
- 検討内容及び結果は、記録係を中心に、適宜、記録します。記録については、キットに含まれる対応記録用紙を使う、メモできる用紙を用意する、またweb会議のチャット機能を使うなど、可能な方法で実施します。
対応によって、施設内の使い方を変更する場合は、施設図面に反映します。
対応によって、待機方針を変更する場合は、待機方針に反映します。

ヒント！

検討を進める上での全体的なポイント

- ★災害時を想定しています。イベントへの対応については、「出来ない」「後で検討」という選択も必要な判断かもしれません。対応の優先度を考慮して進めてください。
- ★与えられた情報以外は「わからない」「まだ情報を収集できていない」という前提で検討してください。最悪の事態を想定して安全サイドに寄った判断をするか、情報が入ってくるまで待つ（保留にする）か、何らかの仮定のもとに判断するか、様々な可能性を検討することが望まれます。

- ★次から、「イベント」（検討内容）とその検討のヒントをセットにして、10のイベントを入れています。時間にあわせてイベント数を選択してください。
- ★今後の自社の方針に反映できることが決定した場合は、自社の計画に追加しましょう。